

日本工芸会陶芸部会 50 周年記念展

## 未来へつなぐ陶芸 — 伝統工芸のチカラ展

Ceramics of the Past and of the Future: The Timelessness of Traditional Japanese Craft Arts

会期：2023年7月8日(土)～8月27日(日)

### 展覧会概要

戦後日本の伝統陶芸の歴史的展開と未来への展望を、  
137作家、139点の作品で紹介！



日本の伝統陶芸の歴史をつくってきた日本工芸会陶芸部会の活動が2022年に50周年を迎えたことを記念した展覧会です。

本展覧会では、歴代の人間国宝作品をはじめ、窯業地ならではの素材と伝統を受け継いだ作家たちによる作品や、茶の湯のうつわ、若手作家たちの作品などを取り上げ、その歩みと未来へつなぐ陶芸のわざと美を137名の139点で紹介します。

### 見どころ

- ・歴代の人間国宝の名品をはじめ、全国各地の優れた陶芸作品を一堂に会して展示。
- ・伝統陶芸の歴史をつくってきた公募展の受賞作・入選作が大集合。
- ・未来を担う陶芸作家によるスペシャルトークショーを開催。  
(佐藤典克氏、高橋朋子氏、和田的氏 いずれも出品作家)

茨城県陶芸美術館  
IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 2345 番地 (笠間芸術の森公園内)

Tel:0296-70-0011 Fax:0296-70-0012

<https://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

## 開催概要

展覧会名	日本工芸会陶芸部会50周年記念展 未来へつなぐ陶芸 —伝統工芸のチカラ展 Ceramics of the Past and of the Future: The Timelessness of Traditional Japanese Craft Arts
会 期	2023年7月8日(土)～8月27日(日)
会 場	茨城県陶芸美術館 地下1階企画展示室
主 催	茨城県陶芸美術館、公益社団法人日本工芸会、NHKプロモーション
制作協力	NHKエンタープライズ中部
後 援	笠間市、茨城工芸会、朝日新聞水戸総局、茨城新聞社、NHK水戸放送局、 産経新聞社水戸支局、東京新聞水戸支局、毎日新聞水戸支局、読売新聞水戸支局
開館時間	9時30分～17時（入場は16時30分まで）
休 館 日	毎週月曜日（ただし、7月17日(祝)、8月14日は開館）、7月18日（火）
観 覧 料	一般840(680)円 70歳以上420(340)円 高大生630(520)円 小中生320(260)円 （ ）内は20名以上の団体料金。 土曜日は高校生以下無料。（ただし、長期休業日に当たるときを除く） 7月29日（土）は満70歳以上の方無料。

### 広報文1（45文字）

歴代の人間国宝の名品から新進作家の最新作を通して、未来へつなぐ陶芸のわざと美を紹介します。

### 広報文2（96文字）

歴代の人間国宝をはじめ、窯業地ならではの素材と伝統を受け継いだ作家たちによる作品や、茶の湯のうつわ、若手作家たちの作品など、137名の139点にわたって、未来へとつなぐ陶芸のわざと美を紹介します。

### 広報文3（153文字）

伝統的な陶芸の歴史をつくってきた日本工芸会陶芸部会の活動が2022年に50周年を迎えたことを記念した展覧会です。本展では、歴代の人間国宝作品をはじめ、窯業地ならではの素材と伝統を受け継いだ作家たちによる作品や、茶の湯のうつわ、若手作家たちの作品など、137名の139点にわたって、未来へとつなぐ陶芸のわざと美を紹介します。

## 出品作品画像

下記の作品画像は広報担当のe-mailアドレスまでご連絡いただけましたらデータをお送りします。  
使用の際には作品キャプションおよび所蔵を併記してください。

広報用画像(ポスター画像)		※画像のみを使用する場合は以下のキャプションを掲載してください。			
					
		<p>十三代三輪休雪 エル キャピタン 2021年 個人蔵</p>		<p>室伏英治 Nerikomi Porcelain Sparkle 2012年 東京国立近代美術館蔵</p>	
					
<p>松井康成 練上嘯裂文大壺 1979年 茨城県陶芸美術館蔵</p>	<p>高橋朋子 金銀彩水指 游ぐ月 2019年 個人蔵</p>	<p>新里明士 光器 2021年 個人蔵</p>	<p>見附正康 無題 2021年 個人蔵</p>		

## プレスレビューのお知らせ

**7月7日(金)13時00分**より **プレスレビュー**を行います。

### 展示構成 (Ⅰ～Ⅲ章 + 1～6コラム)

#### 第Ⅰ章:「伝統工芸(陶芸)の確立」

日本工芸会の初期の活動を支え、その存在を知らしめるきっかけとなった陶芸家の優品を展示し、伝統陶芸の神髄を紹介します。

出品作家:金重陶陽、加守田章二、藤本能道、松井康成、三輪休和ほか、19作家19点)

#### コラム1:【伝統工芸(陶芸)と創作工芸(陶芸)】

日本工芸会と勢力を二分する日展の代表的な作家の作品を紹介します。  
(出品作家:板谷波山、六代清水六兵衛、楠部彌弐、3作家3点)

#### コラム2:【人間国宝(重要無形文化財保持者)の存在】

1955年に陶芸分野で初の重要無形文化財保持者となった4名の代表作を紹介します。  
(出品作家:荒川豊蔵、石黒宗麿、富本憲吉、濱田庄司、4作家5点)

#### 第Ⅱ章:「伝統工芸(陶芸)のわざと美」

多彩な展開をみせてきた伝統陶芸の技と美の広がりをご紹介します。

(出品作家:井上萬二、十三代今泉今右衛門、中島宏、吉田美統ほか、34作家34点)

#### コラム3:【産地と表現】

窯業地が育んだ独自の作風をご紹介します。  
(出品作家:伊勢崎淳、市野雅彦、五代伊藤赤水、三代徳田八十吉、福島善三、三輪壽雪、6作家6点)

#### コラム4:【茶の湯のうつわ】

伝統陶芸には欠かせない日本の文化を映す茶の湯のうつわをご紹介します。(出品作家:加藤孝造、鈴木藏、徳澤守俊、波多野善蔵、樂直入、5作家6点)

#### 第Ⅲ章:「未来へつなぐ伝統工芸(陶芸)」

伝統的な技術・技法を駆使しつつ現代という時代を意識して作品をつくり上げている陶芸家の作品をご紹介します。

(出品作家:井戸川豊、十四代今泉今右衛門、鈴木徹、前田昭博ほか、56作家56点)

#### コラム5:【素材と表現】

新たな素材と独自の技法により導き出された作品をご紹介します。  
(出品作家:石橋裕史、隠崎隆一、神農巖、3作家3点)

#### コラム6:【新たな技法とうつわのかたち】

現代という時代を作品に映し出し、これからの伝統陶芸の可能性を予感させる作品をご紹介します。(出品作家:伊勢崎晃一郎、渋谷英一、中田博士、新里明士、見附正康、室伏英治、和田的、7作家7点)

## 関連企画

### (1)スペシャルトークショー(予約優先/定員90人)

出演者: 佐藤典克氏、高橋朋子氏、和田の氏(いずれも出品作家)  
内容: 未来へつなぐ伝統工芸について語り合います。  
日時: 7月22日(土)13時30分から15時まで  
会場:当館1階 多目的ホール 参加費:無料(要企画展観覧料)

<予約フォームQR>

空き状況により当日参加可。



### (2)アーティストトーク(出品作家によるトーク)(予約不要)

時間: いずれも13時30分から14時30分まで  
1. 8月12日(土)保立剛氏、福野道隆氏  
2. 8月19日(土)高橋奈己氏、澤田勇人氏  
会場:当館地下1階 企画展示室 参加費:無料(要企画展観覧料)



### (3)ワークショップ(要予約/定員各10人)※抽選

<予約フォームQR>

「人間国宝の“わざ”に挑戦しよう(“練上”体験)」

申込〆切7月20日(木)/抽選結果は7月21日(金)以降にお知らせします。

内容: オープン粘土で練上技法をつかって小さな壺形オブジェをつくるワークショップです。(所要90分)  
日時: 7月29日(土) ①午前の部:10時30分から ②午後の部:13時30分から  
参加費:無料(要企画展観覧料)

### (4)ギャラリートーク(予約不要)

担当学芸員が展覧会をご案内いたします。  
日時: 8月5日(土)13時30分から14時15分まで  
会場:当館地下1階 企画展示室 参加費:無料(要企画展観覧料)

### (5)落語の世界の名品・珍品(予約不要)

「うつわを巡って起こる大騒動」  
日時: 8月26日(土)14時から15時まで 出演:茨城大学落語研究会  
会場:当館地下1階 企画展示室 参加費:無料(要企画展観覧料)

### (スペシャルトークショーおよびワークショップ予約方法)

イベント詳細・お申込みは電話またはWEBで  
(受付開始日時:6月13日(火)9時30分から)  
《電話》0296-70-0011(9時30分から17時00分。休館日は受付できません。)  
《WEB》各イベント申し込みフォーム、または当館ウェブサイトよりお申込みください。  
※イベントごとにフォームが違いますので、お間違いないようご注意ください。  
※諸事情により、予告なくイベント等を中止・延期する場合がございます。  
変更の場合には、当館ウェブサイトにてお知らせいたします。

### ◆つくば美術館土曜講座

「未来へつなぐ陶芸-伝統工芸のチカラ展について」  
講師:岩井基生(茨城県陶芸美術館主任学芸主事)  
日時: 6月10日(土) 13時30分から  
会場:茨城県つくば美術館 2階アルスホール  
TEL:029-856-3711  
※詳しくは茨城県つくば美術館へお問い合わせください。

### ◆こどもワークシート

企画展「未来へつなぐ陶芸-伝統工芸のチカラ展」をよりよく楽しむためのワークシートを館内で配布します。  
当館ウェブサイトからもダウンロードしてお使いいただけます。

### ◆謎解きチャレンジ

企画展示室を舞台に「謎解き」に挑戦できます。

## 問い合わせ先

茨城県陶芸美術館 〒309-1611 茨城県笠間市笠間2345(笠間芸術の森公園内)  
TEL:0296-70-0011 FAX:0296-70-0012

展覧会担当:学芸課 主任学芸主事 岩井基生 e-mail:iwai.motoki@post.ibk.ed.jp  
学芸員 芦刈 歩 e-mail:ashikari.ayumi@blue.ibk.ed.jp  
広報担当:企画管理課 主任学芸主事 塚田 巧 e-mail:kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp